

2021年7月12日

後期高齢者の医療費窓口自己負担2割化実施の凍結を求める請願書

和歌山県後期高齢者医療広域連合議会

議長 成川 満 殿

請願人

〒640-8281 和歌山市湊通丁南1丁目1の3

名城ビル2階

和歌山県社会保障推進協議会

代表幹事 佐藤



紹介議員 東芝 弘



請願の趣旨

先の国会で、75歳以上の医療費窓口負担について年収200万円以上(単身世帯の場合)の約370万人を1割から2割に引き上げることが決まりました。国会の議論でも指摘されたように、高齢者の収入に占める医療費負担の割合は若者世代に比べて3倍から4倍程度も重くなっています。一方で、高齢者の暮らしを支える年金額が4月から0.1%削減され生活不安が募っています。こうしたもとの医療費の負担を増やすことは受診抑制につながり、救えるいのちが救えない事態になりかねません。また重症化してから医療機関にかかるとう医療費もかさみます。被保険者の健康に対する啓発活動を強め、健診率を上げることによって早期発見、早期治療こそが医療費を抑制する最善の方策です。

ついては、以下の項目の実現を強く求め、地方自治法第99条の規定に基づき、政府関係機関に意見書を提出いただくよう請願いたします。

請願事項

1. 75歳以上の医療費窓口負担2割化実施を凍結すること。

以上